

## 日本臨床内分泌病理学会 理事会議事録

日 時：2017年10月26日（木）16：00～17：30

会 場：東京コンベンションホール会議室（東京スクエアガーデン5階）

出席者：山田正三 理事長、笹野公伸 副理事長、島津 章、吉本勝彦、田辺晶代、屋代 隆、  
岡本高宏、方波見卓行、菅間 博、戸田修二、近藤哲夫の各理事、井下尚子 監事

欠席者：加藤良平、松野 彰の両理事、柴田洋孝 監事、長村義之 顧問

同席者：事務局

議題：

### I 評議員会・総会と共通の議題

#### <評議員会・総会の審議事項>

1. 2016年度決算及び監査報告の件 --- 島津（財務）・松野（前年度会長）・井下（監事）
2. 2017年度見込み及び2018年度予算案の件 ----- 島津
3. 次次次期（第24回、2020年度）学術総会会長候補者の件 ----- 理事長
4. 名誉会員、功労評議員、新評議員推薦の件 ----- 理事長

#### <評議員会・総会の報告事項>

5. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の件（4月理事会承認済） ----- 理事長
6. 第21回学術総会研究賞の件 ----- 田辺（本年度会長）
  - 1) 研究賞選考委員（4月理事会承認済）
  - 2) 研究賞受賞者
7. 第22回（2018年度）学術総会の予告 ----- 吉本（次年度会長）

### II 理事会のみの議題

#### <報告事項>

8. 学会ホームページへの企業バナー開設とその後 ----- 屋代
9. 活動計画の実施に向けて ----- 笹野
  - 1) 第2回分子病理学シンポジウム
  - 2) 日韓合同内分泌病理症例カンファレンス
10. 第92回 JES 学術総会プログラム委員会（第1回）の報告と  
特別演題の提案 ----- 田辺（Pg 委員）
11. 会員数と会費長期未納者の取り扱いについて ----- 理事長
12. コンサルテーションの現状について ----- 近藤
13. その他 ----- 理事長

冒頭、山田理事長より、会則の定足数を満たす理事が出席しているので、本理事会は成立する旨報告があり、引き続き同理事長により議事進行が行われた。

## 1. 2016 年度決算及び監査報告の件〔審議事項〕

・島津財務担当理事より、一般会計の収入の部において、会費納入者率の上昇に伴う正会員会費収入の増加により予算額を上回ったこと、一方、支出の部において、会議費や顧問交通費が発生しなかったものの新規事業費（内分泌病理学教育セミナー・ISPGRS の各補助金）への支出に伴い予算額を上回ったこと、結果的に当期収支差額は約 5.5 万円の健全な小幅黒字決算となったことが報告された。また、用途限定金を差し引いた純繰越金は 3,771,279 円で、前年度から若干増加したと説明された。

・第 20 回松野会長（広報担当理事）からは、約 100 名の参加者を得て 400 万円余規模の学術総会になったこと、結果的に一般会計繰越金（トラベル гранト返金 10 万円を含む）は 100,739 円となったことが説明された。

・引き続き、山田理事長より、井下監事に代り、2016 年度決算は適正に執行されているとの監査報告を受けているとのコメントがあり、審議の結果、2016 年度決算は全会一致で承認された。その後、遅れて出席された井下監事より、再度の監査報告が行われた。

## 2. 2017 年度見込み及び 2018 年度予算案の件〔審議事項〕

・島津財務担当理事より、2017 年度見込みに関し、収入の部においては、寄付収入は発生しないこと、支出の部においては、新規事業への補助金は発生せず、特別功労賞は該当者なしであったものの、学会名称変更に伴う消耗品費や企業バナー広告募集の設定に伴うホームページ作成・管理費の支出増の結果、支出が収入を上回るため、当期収支差は 52,750 円の赤字決算を見込んでいると報告された。

・引き続き、同理事から、2018 年度予算案に関し、収入・支出とも基本的に 2017 年度予算及び見込を参考に予算を計上したが、当期収支差額は約 21 万円の赤字となることから、現在進めているホームページへの企業バナー広告からの収入を期待したいとの説明があった。

・上記 2 件について審議の結果、これらは全会一致で承認された。

## 3. 次々次期会長（第 24 回、2020 年度）選出の件〔審議事項〕

・各理事より候補者の推薦がなかったため、山田理事長より、岡本 高宏 企画学術担当理事（東京女子医科大学 第二外科教授・講座主任）を次々々期会長に推挙したいとの提案があり、岡本理事を全会一致で次々々期会長として承認、評議員会・総会に推薦することとした。また、同候補者もこれを受諾した。

## 4. 名誉会員、功労評議員、新評議員推薦の件〔審議事項〕

・山田理事長より、資格要件を満たす山下 裕人 功労評議員（医療法人野口記念会 野口病院）を新名誉会員として評議員会・総会に推薦したいと提案され、全会一致で承認された。

・山田理事長より、資格要件を満たす山下 俊一 評議員（長崎大学理事・副学長 原爆後障害医療研究所）、重松 和人 評議員（長崎原爆病院 病理部長）を新功労評議員として評議員会・総会に推薦したいと提案され、全会一致で承認された。

・山田理事長より、新評議員の申請はなかったとの説明があった。なお、同理事長より、今後の評議員推薦を促進していくため、申請資格要件に関して、本体の日本内分泌学会と

同様、十分な経験があり、理事会で認められれば評議員とするという一項を内規に組み込んでどうかとの提案があり、内規の改訂が全会一致で承認された。

## 5. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の件 [報告事項]

・山田理事長より、4月理事会で承認・決定された下記の各受賞者を評議員会・総会に報告することを確認した。なお、特別功労賞の推薦はなかった。

### (1) 佐野賞

近藤 哲夫 (山梨大学医学部 人体病理学講座)

テーマ：甲状腺発癌と分化制御の分子メカニズム

### (2) 亀谷賞

元井 紀子 (国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院病理・臨床検査科)

テーマ：肺神経内分泌腫瘍に関する臨床病理学的研究

## 6. 第21回学術総会研究賞の件

・第21回田辺会長(庶務理事)より、前回4月理事会で承認された選考委員3名及びその下で選ばれた受賞者について下記の報告があり、評議員会・総会に報告することを確認した。

### (1) 研究賞選考委員

委員長 (=会長)：田辺 晶代

委員 (順不同)：菅間 博 理事、井下 尚子 監事、柴田 洋孝 監事

### (2) 研究賞受賞者

#### ① 最優秀賞

・東 森生 (自治医科大学医学部 解剖学講座 組織学部門)

テーマ：下垂体前葉組織における基底膜成分ラミニンを構成する5種類の $\alpha$ 鎖の機能的差異に関する基礎的研究

#### ② 奨励賞

・大和 梓 (千葉大学大学院 医学研究院 細胞治療内科学)

テーマ：先端巨大症163例における主成分解析に基づいた病勢分類の検討

・木住野 美緒 (長崎大学医学部 医学科4年)

テーマ：放射線誘発甲状腺がんラットモデルでの被曝特異的腫瘍化分子指標の探索

・有益 優 (杏林大学医学部 病理学教室)

テーマ：甲状腺癌細胞株におけるTERTプロモーター領域の点突然変異とrSNP

・芥川 剛至 (佐賀大学医学部 病因病態科学講座)

テーマ：胃癌の生存、増殖、浸潤における脂肪組織と流体刺激の役割とその制御機構

## 7. 第22回(2018年度)学術総会の予告 [報告事項]

・吉本次期会長(財務担当理事、徳島大学大学院医歯薬学研究部 分子薬理学分野教授)より、下記の概要が報告された。

会 期：2018年9月21日(金)、22日(土)の2日間

会 場：徳島大学蔵本キャンパス（徳島市蔵本町 3-18-15）

テーマ：本学会発祥の地で病態を探る

演題募集：2018 年 5 月上旬～6 月下旬（予定）

学術総会事務局（連絡先）：徳島大学大学院医歯薬学研究部分子薬理学分野 岩田 武男

〒770-8504 徳島市蔵本町3-18-15

Tel：088-633-9123（吉本）、088-633-9137（岩田）

Fax：088-633-7331

E-mail：iwatakeo@tokusima-u.ac.jp

## 8. 学会 HP への企業バナー開設とその後 [報告事項]

・屋代広報担当理事より、「バナー案内」をトップページに設けて「バナー広告申込書」へのリンク設定を完了したことが報告された。開設費用は 32,400 円。掲載料は、賛助会員は無料、賛助会員以外は 50,000 円 / 年。

・現在、複数の製薬会社にバナー広告掲載を募っている状況にある。

## 9. 活動計画の実施に向けて [報告事項]

・笹野副理事長より、本学会の今年度事業活動として、第 2 回分子病理学シンポジウム（豪州 Griffith 大学での内分泌病理教育セミナー、2018 年 2 月 2,3 日）並びに日韓合同内分泌病理症例カンファレンス（本年 12 月 8,9 日）の概要が報告された。第 2 回分子病理学シンポジウムは同副理事長と長村顧問が参加される。

・屋代理事によるホームページの News & Topics への投稿並びに学会事務局による会員への一斉メール発信により、これらの活動に対する会員への周知を図っていくこととなった。

## 10. 第 92 回日本内分泌学会学術総会プログラム委員会（第 1 回）の報告と特別演題の提案 [報告事項]

・本学会代表プログラム委員の田辺会長より、本学会からの特別演題の提案内容が報告された。各分科会、各領域からの提案を受けて、第 2 回プログラム委員会が 2017 年 11 月 23 日（木）第 127 回理事会（神戸）後に開催されることも併せて報告された。

・第 2 回プログラム委員会までまだ時間的余裕があるので、追加提案があれば同会長に送っていただくことになった。

## 11. 会員数と会費長期未納者の取り扱いについて [報告事項]

・山田理事長より、2017 年 10 月 1 日現在の本学会の総会員数は 286 名に上ることが報告された。また、本年度末で 3 年間及び 2 年間の会費未納者（33 名）について、知り合いに対しては本人へあるいは指導教官を通じて会費納入の働きかけをお願いしたいこと、来年 2 月に会費再々請求を行った後、3 年間未納者は退会扱いとなることも併せて報告された。

## 12. コンサルテーションの現状について [報告事項]

・近藤渉外担当理事より、本年度上半期のコンサルテーション依頼件数は 3 件であったことが報告された。（因みにこれまでの依頼件数は、2012 年度：1 件、2013 年度：4 件、2014

年度：7件、2015年度：7件、2016年度：2件)

・本制度の内分泌病理専門医・男性生殖器内分泌分野の南口早智子先生（京都大学）が本年度末で本学会を退会されることから、専門医補充の要否が検討された結果、当面2名体制で様子を見ていくことが決まった。

・本制度は社会貢献の一面を持つことから、日本内分泌学会のメールマガジンや学術総会時のブース設定などで広報活動を積極的に進めること、内分泌外科や間脳下垂体腫瘍学会などへと本制度活用の間口を広げていくことが申し合わされた。

### 13. その他

・山田理事長より、これまでの封書を用いた評議員会・総会（合同）の案内に関し、電子メールアドレスの登録会員にはメールによる案内を、非登録会員にはこれまで通り封書での案内を継続したい、これにより約2万円の経費節減につながる、との事務局提案が紹介され、来年度から試みることが了承された。

以上

（記録：事務局・岩木、理事長・副理事長・筆頭理事・会長：校閲済）